



## 石鏡町の大壁画が蘇よみがえりました！

石鏡町在住の地域おこし協力隊である佐藤千裕さんが、町の魅力を色で表現する「いじかカラープロジェクト」の一環として、20年前に作られたレリーフ状の壁画を町民のみなさんと協力してリノベーションしました。市道石鏡線沿いの縦約3メートル、横約10メートルの壁画は、石鏡の海にはためく大漁旗をイメージした色合いで、大船に乗った漁師を海女やイセエビ・アワビなどの海の幸が囲んでいます。

佐藤さんは「石鏡の魅力と元気な力を感じ取り、ぜひ記念撮影をしてってください」と話してくれました。



2月3日、鳥羽警察署にて交通栄誉章緑十字金章伝達式が行われ、鳥羽地区交通安全協会顧問の前田廣行さんが野呂署長より表彰状を受け取りました。同章は交通安全活動などに尽力したかたに対し、一般財団法人全日本交通安全協会と警察庁により贈られます。

前田さんは平成3年から同協会の活動を始め、早朝街頭指導や交通安全教室での啓発活動などに尽力されました。今回の受章について「警察をはじめ、安全協会役員・委員、職員、地域のみなさんの協力のおかげ。今後も活動を続けたい」と話してくれました。

地域の交通安全に貢献！29年の活動に感謝



## 市町対抗駅伝鳥羽市選手団解散会

2月14日、県立鳥羽高校のグラウンドで第14回美し国三重市町対抗駅伝の中止に伴い、鳥羽市選手団の解散会が行われました。

大会は中止となったものの、練習を重ねてきた選手をねぎらおうと開かれたもので、選手など約20人が参加しました。

解散会では、選手を2チームに分けて鳥羽高校のグラウンドの外周をコースとした駅伝を実施したほか、レースで着用する予定だったゼッケンなどを贈りました。



1月29日、鳥羽市消防本部により安楽島町のエキシブ鳥羽別邸が鳥羽市救急サポートステーションに認定されました。

救急サポートステーションとは市民の救命率向上を目的に、救急隊到着までの応急処置など迅速な対応を可能とする事業所を対象としており、市内では26か所目の認定となります。

同事業所の福島直文総支配人は「災害時などに備えて地元のかたの健康や安全に貢献したい」と話してくれました。

鳥羽市救急サポートステーション認定！